ＮＳＴ通信

医療法人　康仁会
西の京病院
ＮＳＴ委員会
第55号(令和5年7月)
発行担当：検査科

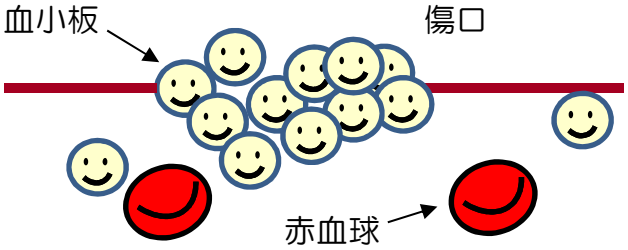
創傷治癒に必要な栄養素

創傷は、①出血凝固期、②炎症期、③増殖期、④組織再構築期の4つのステージを経て治っていきます。その過程で多くの栄養素が関与しています。『亜鉛』が重要とよく言われていますが、その他にも、さまざまな栄養素をバランスよく摂取する必要があります。

受傷

出血凝固期

傷口は血小板や凝固因子により凝血塊を作り、止血する。



炎症期

好中球やマクロファージなどの炎症細胞の遊走が起こり、細菌や壊死組織が貪食除去され、創部が清浄化される。

蛋白質	炭水化物	ｱﾙｷﾞﾆﾝ

欠乏すると…

炎症を遷延化し、白血球機能不全をおこす。

増殖期

線維芽細胞などの増殖が起こりコラーゲン生成、血管新生により肉芽組織が組織の損傷部を充填し、上皮化や創の収縮が起こる。

蛋白質	亜鉛	ｱﾙｷﾞﾆﾝ	鉄
ﾋﾞﾀﾐﾝA		ﾋﾞﾀﾐﾝC	

欠乏すると…

線維芽細胞の機能低下
ｺﾗｰｹﾞﾝの合成機能低下

組織再構築期

線維芽細胞が減り、コラーゲンの再構築が起こる。創が収縮・閉鎖され、損傷部が治癒していく。

カルシウム	亜鉛	銅
ﾋﾞﾀﾐﾝA	ﾋﾞﾀﾐﾝC	

欠乏すると…

ｺﾗｰｹﾞﾝの再構築不全・上皮形成不全
ｺﾗｰｹﾞﾝの架橋結合不全

治癒

ＮＳＴへのお問い合わせは栄養管理部またはリンクナースへ
(栄養管理部PHS：913・970)